

## 春日部地域の指定文化財



各指定文化財の詳しい  
情報はこちらからどうぞ

### ❶ 秋葉神社の夫婦松 市指定天然記念物

イチョウとマツが根元で一緒になり、地上1mの所から分岐する珍しい樹木です。昔はこの場所に秋葉神社があり、夫婦松は神社の御神木でしたが、春日部駅西口の開発に伴い神社は南に移転しました。



### ❷ 坊荒句遺跡出土旧石器時代石器群 市指定有形文化財

坊荒句遺跡では後期旧石器時代の初め(約3万年前)の地層から33点の石器が発掘されました。ナイフ形石器やスクレイパーは市内最古級です。  
★郷土資料館に展示しています。



### ❸ 内牧塚内古墳群 (写真上) 市指定史跡 塚内4号墳出土遺物 (写真下) 市指定有形文化財

内牧字塚内周辺に点在する古墳群で、6～7世紀の古墳時代後期に築かれました。各古墳の大きさは高さ2～3m、直径10～30m程度です。また、4号墳からは武蔵と下総の特徴をもつ2種類の円筒埴輪や、男性を表した人物埴輪などが発掘されました。  
★出土品は郷土資料館に展示しています。



### ❹ 見川喜蔵墓及び見川家五輪塔 市指定有形文化財

見川喜蔵墓は、成就院内にあり、古利根川の洪水を防ぐための堤防などをきずいた見川喜蔵をたたえる碑文が刻まれています。見川家五輪塔は、粕壁宿の名主などをつとめた、見川家当主を供養するため建てられました。



### ❺ 都鳥の碑 市指定有形文化財

在原業平の隅田川における伝承等を伝えるため、嘉永6年(1853)に建立された石碑です。刻まれた和歌や詞書は、当時の名のある歌人であった千種有功によるもので、粕壁宿の住民の文化活動の広まりが認められる資料です。



### ❻ やじま橋 市指定有形文化財

古隅田川にかけられていた石橋で、現在は古隅田公園内に移築されています。元文2年(1737)に岩槻藩主の永井氏のために造られ、現存する石橋としては県内最古のものです。



移築前のやじま橋

### ❼ 満蔵寺のお葉付きイチョウ 県指定天然記念物

イチョウの実が葉の付け根に実り、枝も通常のイチョウとは異なり水平もしくは下向きに伸びる珍しい種類です。



### ❶ 慈恩寺原北遺跡出土旧石器時代石器群 市指定有形文化財

後期旧石器時代の初め(約3万年前)の地層から出土した石器です。栃木、群馬、長野県で産出される石材が主に用いられており、人々が広く活動や交流をしていたことを示しています。  
★郷土資料館に展示しています。



### ❸ 花積貝塚 市指定史跡

縄文時代の貝塚で、遺跡から出土した縄文時代前期初頭(約6千年前)の土器には「花積下層式土器」と名がつけられています。貝塚からは土器や石器のほか、埋葬された人骨や貝殻、魚、獣の骨がみつかっています。

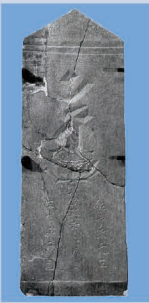


竪穴住居跡

※文化財の所有者の許可を得てから見学してください。

### ❷ 浜川戸遺跡出土の板石塔婆 市指定有形文化財

昭和62年に行われた発掘調査で、春日部八幡神社の周囲に広がる浜川戸河畔砂丘から6基の板石塔婆が出土しました。これらは弘安6年(1283)をはじめとして、鎌倉時代後期から南北朝時代の年号が刻まれており、砂丘の形成はこの頃に完了したと考えられています。  
★郷土資料館に展示しています。



### ❶ 中川低地の河畔砂丘群 浜川戸砂丘 県指定天然記念物

中川低地の河畔砂丘は榛名山や浅間山の火山灰由来する砂が、平安～室町時代の寒冷期の強い季節風により、吹き溜められた内陸性の砂丘です。中川低地では羽生市から越谷市にかけて分布し、浜川戸砂丘は古隅田川の沿岸で形成された河畔砂丘です。



春日部八幡神社境内の砂丘

### ❹ 小淵山観音院仁王門 市指定有形文化財 小淵観音院円空仏群 県指定有形文化財

小淵の観音院は、現存する市内唯一の修験寺院です。仁王門は「三間一戸」の形式の楼門で、元禄年間(1688～1704)に建てられたといわれています。また、観音院には聖観音菩薩立像や蔵王権現立像など7軀の円空仏が伝えられています。★円空仏は埼玉県立歴史と民俗の博物館で保管されています。



### ❶ 小淵河畔砂丘出土の須恵器大甕 市指定有形文化財

昭和31年、小淵小学校の西側に広がる小淵河畔砂丘で発見された大甕です。古墳時代後期から奈良時代初頭(7～8世紀)のもので、群馬方面の窯で焼かれたものと推定されます。砂丘の下から発見されたことから、砂丘の形成開始を示す資料です。  
★郷土資料館に収蔵しています。



### ❶ 碓神社のイヌグス 県指定天然記念物

イヌグスは南方系の樹木で、県内でも珍しいものとなっています。樹齢は600年を超えると推定され、江戸時代には、古利根川を航行する船の目印となっていました。



### ❶ 不動院野の神楽 市指定無形民俗文化財

神楽は茨城県稲敷市の大杉神社から伝えられたといわれ、「三番叟」や「種蒔」などの演目があります。4月に東不動院野大杉神社にて演じられます。



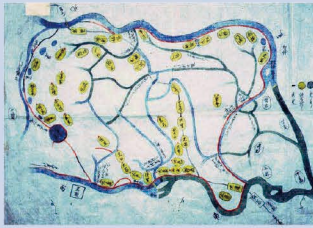
### ❶ 粕壁宿検地帳 市指定有形文化財

江戸時代の粕壁宿の耕地や屋敷地について記された検地帳の原本です。元禄10年(1697)の検地帳5冊のほか、延享4年(1747)、明和3年(1766)、同9年(1772)の検地帳があります。  
★郷土資料館に収蔵しています。



### ❶ 粕壁宿文書 市指定有形文化財

江戸時代、粕壁宿は日光道中の第4の宿場町で、粕壁宿文書は名主の家に伝えられてきました。宿内での出来事を記した文書や幕府からの触書、絵図などがあり、江戸時代後期の宿の様子が分かる文書群です。★郷土資料館で複製を展示しています。



### ❶ 木櫛製作用具 市指定有形文化財

春日部市域における最後の木櫛職人が使用していた木櫛製作用具です。製作に必要な用具一式が揃っており、用具の多くに職人自らが使いやすいように工夫を施していることが特徴です。  
★郷土資料館に収蔵しています。



### ❶ 北条氏政の感状 市指定有形文化財

北条氏政が、粕壁の多田新十郎に与えたものです。永禄12年(1569)、申斐国の武田氏の夜襲に対して、新十郎が敵1人を討ち取り、氏政がそれを賞しています。  
★郷土資料館に収蔵しています。



春日部市郷土資料館の  
情報ははこちらからどうぞ

### ❶ めがね橋 県指定有形文化財

旧倉松落に架かる4連のアーチを持つ煉瓦造りの樋門で、現存する煉瓦造りの樋門としては県内で2番目に古いものです。



### ❶ 牛島のフジ 国指定特別天然記念物

推定樹齢1200年、幹回りは4m以上、藤棚の面積が800㎡ある国内最大規模のフジです。多くの著名人が訪れ、詩人の三好達治は「牛島古藤花」という詩を詠みました。



### ❶ 赤沼の獅子舞 市指定無形民俗文化財

享保3年(1718)に、越谷市の下間久里から伝えられ、銚子口、東中野の獅子舞と同系統です。勇壮な舞が特徴的で、演目の終りには「弓くぐり」が行われます。



### ❶ 常楽寺の銅造阿弥陀如来坐像 市指定有形文化財

応永27年(1420)につくられた銅造の仏像です。背面には当時、関東地方で多くの銅造阿弥陀如来像の制作に関わった「古阿弥」、「融海」、「明全」、「祐全」ほか、6名の僧尼の名が刻まれています。



### ❶ 銚子口の獅子舞 市指定無形民俗文化財

元禄10年(1697)に、越谷市の下間久里から伝えられました。「一人立三頭獅子」という形式で、「天狗の舞」や「出端の舞」など、勇壮な舞が特徴的です。



### ❶ 備後の丸彫庚申塔 市指定有形文化財

江戸時代、村の人々が集まって、庚申の晩に徹夜で歓談する庚申塔が広く行われ、市内には350基以上の庚申塔が建てられました。この庚申塔は全国的にも珍しい丸彫り型で、享保13年(1728)に建てられました。



### ❶ やったり踊り 県指定無形民俗文化財

念仏踊りの一種で、手踊りと扇子踊りがあります。江戸時代に大畑村と備後村が不毛の土地を押しつけ合い、相撲で決着をつけたところ、勝利した大畑村の人々が「ヤッターナー、ヤッターナー」と囃し立てたことが始まりといわれています。



### ❶ 崇蓮寺の木造青面金剛像 市指定有形文化財

本像は像内の墨書から、寛文七年(1667)に崇蓮寺開山上人が制作と供養に関わったとされます。木彫像では類例が少ない貴重なものです。



### ❶ 圓福寺の厨子入木彫当麻曼陀羅図 (写真下) 厨子入木彫釈迦涅槃図 木彫閻魔王宮並びに八大地獄図 版木 木造阿弥陀如来立像及び両脇侍像 (写真上) 市指定有形文化財

一ノ割の圓福寺では、光世上人により元禄11年(1698)に木彫当麻曼陀羅図、木彫釈迦涅槃図が、元禄15年(1702)に木彫閻魔王宮並びに八大地獄図が作られました。また、これらを作成した経緯が12枚の版木に記されています。木造阿弥陀如来立像及び両脇侍像の経緯も版木に刻まれており、中尊の阿弥陀像は平安時代半ばにさかのぼる古仏、両脇侍像は光世上人の作とされています。

